【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】令和6年8月27日(2024.8.27)

【国際公開番号】WO2022/084984
【公表番号】特表2023-545351(P2023-545351A)
【公表日】令和5年10月30日(2023.10.30)
【年通号数】公開公報(特許)2023-204
【出願番号】特願2023-513942(P2023-513942)
【国際特許分類】
Ｂ２３Ｃ　5/10(2006.01)
Ｂ２３Ｃ　5/20(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２３Ｃ　5/10　　Ｄ
Ｂ２３Ｃ　5/20

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月19日(2024.8.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
工具回転方向及び前記工具回転方向とは反対の工具逆回転方向を有するフライス工具であって、
前記フライス工具は、細長いシャンク部分と、前記シャンク部分に接続される切削部分と、を備え、
前記シャンク部分は、
前記シャンク部分から前記切削部分までの下側方向（ＤＤ）及び前記下側方向（ＤＤ）とは反対の上側方向（ＤＵ）を画定する長手方向軸（ＡＬ）と、
前記長手方向軸に直交し、前記フライス工具から外側の外側径方向（ＤＯ）及び前記外側径方向とは反対の内側径方向（ＤＩ）と、
を画定し、
前記切削部分は、すくい面と、逃げ面と、前記すくい面と前記逃げ面との交線に沿って形成される切れ刃と、を備え、
前記切れ刃は、径方向切れ刃を備え、
前記径方向切れ刃は、前記長手方向軸（ＡＬ）に平行に測定可能な軸方向切れ刃長さＬＡＥ及び前記長手方向軸（ＡＬ）に直交して測定可能な径方向切れ刃長さＬＲＥを有し、
前記すくい面に面する上面図において、前記径方向切れ刃は、
第１の長手方向長さＬ１及び第１の径方向長さＲＩ、第１の仮想線（ＩＬ１）を画定する第１の最上点及び第１の最下点、並びに、前記第１の仮想線（ＩＬ１）と前記長手方向軸（ＡＬ）との間に形成される第１の副切れ刃角度ｋ１、を有する第１の副切れ刃と、
前記第１の副切れ刃の下方に位置し、第２の長手方向長さＬ２及び第２の径方向長さＲ２、第２の仮想線（ＩＬ２）を画定する第２の最上点及び第２の最下点、並びに、前記第２の仮想線（ＩＬ２）と前記長手方向軸（ＡＬ）との間に形成される第２の副切れ刃角度ｋ２、を有する第２の副切れ刃と、
前記第１の副切れ刃及び前記第２の副切れ刃を接続し、第３の長手方向長さＬ３及び第３の径方向長さＲ３を有する第３の副切れ刃と、を有し、
前記第１の副切れ刃は、前記下側方向（ＤＤ）及び前記外側径方向（ＤＯ）で前記第３

の副切れ刃に向かって延在し、
前記第２の副切れ刃は、前記上側方向（ＤＵ）及び前記外側径方向（ＤＯ）で前記第３の副切れ刃に向かって延在し、
前記すくい面に面する前記上面図において、
前記第１の副切れ刃角度ｋ１が、条件１２°＜ｋ１＜２５°を満たし、かつ、
前記第２の副切れ刃角度ｋ２が、条件１２°＜ｋ２＜２５°を満たす、フライス工具。